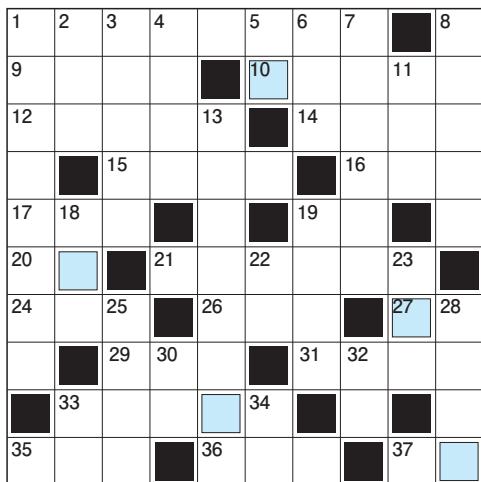


## クロスワードタイム

新年度です！心も体もクロスでリフレッシュしませんか。新入組合員の皆さん、Compass をよろしくお願ひします。二重枠の言葉並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compass の感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■×切:5月27日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント:競走馬の名前にもなっていましたね…。



### ヨコのカギ

- 海を隔てた外国への旅行。
- 溶岩が急冷する際にガスが噴き出してできた、軽く、水に浮く岩石。
- 国が所有している物品や土地を、民間に売り払うこと。「軍用品の○○○○○」。
- 薬を入れる箱。
- 普通の人。ただの人。
- 野心をもって行動する人。
- 室町時代末、中国から伝えられたといわれる絹の紋織物。
- 前もって約束すること。
- 代金を払って自分の所有とすること。
- 「表」の反対は?
- 本業に身を入れず、余暇などの楽しみを好む人。
- 息をふきかえすこと。生き返ること。
- 「スベード、ハート、クローバー、○○○…」。
- 生後約12か月未満の羊、またはその肉(羊肉)のこと。
- 「蟹(かに)」を英語で言うとは?
- 吸い物に添えて香気を加えるもの。柚(ゆず)、山椒(さんしょう)など。
- かせ糸を小枠に移すとき、かせ糸を掛けて回転させる車。
- 代金・料金などを払うこと。
- イカの胴を縦に切り開き、内臓を取り去って干した食品。
- めったにないこと。とても珍しいこと。

### タテのカギ

- 商品やサービスの市場における競争のうち、価格の安さを競うもの。
- 家にいながら、不在をよそおうこと。
- おおよその内容。あらまし。
- とんねるず、木梨憲武の相方。タカさん。
- ある事柄が周囲のものに影響を及ぼすこと。また、その影響。
- 「コラボレーション」の略。
- マイクロソフトが開発・販売するオペレーティングシステム(OS)の製品群。21年10月、最新の11がリリースされました。
- 鹿児島県屋久島に自生する屋久杉の巨木。
- すなほこり。すなけむり。
- テニス・卓球・バドミントンなどのダブルスで、男女が一組となって戦う試合形式。
- テレビのドキュメンタリーなどで、事実らしく見せながら、実際には演技されたものであること。
- 値段が普通より特に安いこと。
- ゴルフで、落下したボールの静止した位置・状態。
- 心配や苦勞がなく、のんびりとしていられること。
- 育て上げること。育ててりっぱにすること。
- 物事に熱中して我を忘れること。また、そのさま。
- 足もとや玄関の上がり口など、床の一部に用いる敷物。
- 家族などが住んでいるところ。
- 内部に物のないこと。からっぽ。
- まるい形。円形。

## Vol.826クロスワード 正解と当選

答えは「セイジンシキ(成人式)」でした。

オ	セ	チ	リ	ヨ	ウ	リ	マ	キ
シ	カ	イ	シ	ヤ	ア	カ	チ	ン
アイ	ユ	ク	ス	エ	ア	ジ		
イ	シ	ヨ	ウ	ペ	ン	ラ	イ	ト
ヘ	タ	カ	ラ	ク	ジ	シ	ウ	
シ	キ	モ	ト	ン	カ	ツ		
ア	ア	ク	セ	ル	オ	サ		
イ	エ	ジ	ピ	イ	ミ	シ	ン	
イ	サ	ミ	ア	シ	シ	ン	カ	
ハ	ゴ	イ	タ	ガ	イ	リ	ヤ	ク

多数のご応募ありがとうございました。次の当選者の方々にクオカードをお送りしました。

領家昇(青木あすなろ)、藤村節子(アサヌマ)、木浪周作、秀礼篤魯山(安藤ハザマ)、石井勇、池田貴史、津田創、林健人、榎井康仁(奥村)、堀順一、森田和貴(鴻池)、竹林和(佐藤)、西田直矢、橋本雄介(鉄建)、昆野真友美、島内和典、森田美優、山木秀友(東洋)、古賀良太(戸田)、久住慎也、児玉紗英子、宮本真志(西松)、白井乙海(JS)、川口和彦(野村)、谷本順久(フジタ)、中村康美、森本剛(松村)、田中純子(丸彦)、岡村佳奈(宮地)、田中和彦(横河) <敬称略>

### 編集後記

多くの学校や会社で入学式・入社式が行われる時期がやってきました。新たなスタートを迎える学生や新入社員の方々の今後の活躍を祈念しつつ、私たちもフレッシュな気持ちと発想をもって業務に取り組んでいきましょう。

さて、今号で紹介しました女性技術者会議と出前講座は、女性活躍推進、建設産業の魅力向上や担い手確保にむけた日建協の重要な活動です。今回の記事には女性技術者や建設産業を志す学生たちの生の声やさまざまな意見が掲載されていますので、ぜひ皆さんの働きやすい職場の形成に役立ててください。

また、2024年に建設産業にも適用される時間外労働の上限規制に関する記事は、上限規制の「4つのルール」についてわかりやすく解説しており、手元に置いて継続的に活用できるものとなっています。

その他、2年ぶりに海外企画も掲載し、硬軟織り交ぜた盛り沢山の内容です。今後も皆さんの役に立ち、また少しでも楽しんでもらえるよう努めていきますので、次回のCompassも楽しみにしてください。

### もや 船い

10年ほど前、家族でオーストラリアに旅行した際、熱気球の体験ツアーに参加したことがある。

まだ真っ暗闇の午前4時、宿泊先のホテル近くに集合した。荷台付きのレッカー車のようなゴツイ車に乗せられ、市街地から林道のような道へと入っていく。しばらく走った広い野原で車が停まり、ツアーの案内人が小さい風船を飛ばす。ここではただそれだけやって車に乗り込み、さらに走った先の野原でまた同じように風船を飛ばす…。後でわかったのだが、気球を飛ばせる気象条件かどうか確認していたようだ。結局2時間以上車に揺られ、綺麗な朝日が登るころ、3つ目の野原で、やっと我々も降り立つこととなった。ツアー客のうち、私を含めてそこそこ動けそうな男性達が次々と声を掛けられ、みんなが乗り込む「かご」を車から降ろす。今度は子供達も加勢し、ぎゅっと畳んだ状態になった布のかたまりを20分ほどかけて広げていくと、

30mほどの巨大な気球が姿を現した。ツアーガイドが気球の内側に大きなガスバーナーで火入れをしてバルーンを膨らませたのち、ようやく我々も気球に乗り込み、約1時間の空へのフライトへ…。

地上数百メートルの上空から右を見ればゴールドコーストのキラキラした海、左を見ればオーストラリアの大平原…。早出によるひと仕事を終えた後の疲労感や眠気、自分が高所恐怖症であることもまとめて忘れるほどの感動的な絶景だった。そして、その感動に負けないくらい、気球に乗る前までの数時間におよぶ「面倒くさい過程」も、私にとっては非常に高揚感のある忘れがたい体験となった。

最近すっかり浮いた話もなく、心満たされる時間を希求している人には是非熱気球に乗ってもらいたい。そして、Mっ気のある人にはこの「面倒くさい過程」もセットで体験してもらいたい。登山やマラソンにも相通じる快感が得られること間違いなし!? (景気浮揚を願う人)